

国立情報学研究所 学術情報リテラシー教育担当者 研修について



2004年12月9日
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所

国立情報学研究所(NII)の役割

情報学に関する総合的な研究開発を行う
ナショナルセンターとしての使命

研究
教育



学術情報の流通のための先端的な基盤の開発と整備

事業

1) 学術情報基盤の整備運用事業(ネットワーク関連)

SINET, スーパーSINETの運用管理

2) 学術情報基盤の整備運用事業(コンテンツ関連)

総合目録データベース, 学術コンテンツ・ポータル、
国際学術情報流通基盤整備事業

3) IT人材研修事業

教育研修事業は、学術情報の流通基盤の整備に必要な人材養成と位置づけられる

NIIの教育研修事業

- NIIの事業に密着した講習機会の提供

⇒ 講習会 / 支援サービス(学内講習支援)

- 大学等の学術研究機関における学術研究活動支援の中核的役割を担う職員の養成

⇒ 専門研修

2004年度の教育研修事業 (1)

● 講習会

名称	受講対象者	目的
目録システム講習会 目録システム地域講習会	目録所在情報サービス参加機関において 目録業務を担当する職員	共通に理解すべき総合目録データベースの内容・入力基準を習得
ILLシステム講習会	目録所在情報サービス参加機関において 新たに NACSIS-ILL業務を開始する機関の担当職員	NACSIS-ILLシステムの運用方法等に関する知識を習得

● 支援サービス

(大学などの機関が実施する講習会・利用説明会への支援)

- 講習会資料提供
- 利用者番号貸与

● 日本研究情報専門家研修への協力

- NIIの事業・サービスを紹介
- 併設目録システム講習会実施

2004年度の教育研修事業 (2)

● 専門研修

名称	受講対象者	目的
学術情報リテラシー教育担当者研修	大学等において学術情報リテラシー教育を担当する者	学術情報リテラシー教育において中核的な役割を担う人材を養成
大学図書館職員講習会	大学図書館等に勤務する若手職員	図書館職員に必要な最新知識及び専門技術を習得
情報処理軽井沢セミナー	大学図書館等において情報サービスの構築等を担う教職員	情報処理の最新技術・理論を習得
情報セキュリティ担当者研修	大学等においてネットワーク管理業務に従事する教職員	情報セキュリティ及びネットワークセキュリティの最新かつ専門的な知識と技術を修得
情報セキュリティ講座	大学等における情報セキュリティ及び個人情報保護の担当者	個人情報保護法への対応上必要な情報セキュリティ等の知識修得 (文部科学省主催セミナーを配信)
情報ネットワーク管理担当者研修	大学等においてネットワーク管理業務に従事する教職員	ネットワーク管理業務担当者として必要な基盤技術全般を修得
総合目録データベース実務研修	目録所在情報サービス参加機関において目録業務を担当する職員	担当者の指導等 各機関で目録業務の中核となる職員の要請
学術ポータル担当者研修	大学等において学術ポータルの企画、構築及び運用管理を担当する者	学術ポータルの企画、構築等に係る専門的な知識と技術を習得

リテラシー担当者研修 2003年度試行 (1)

経緯

2003年5月 国立大学図書館協議会（国大図協＝現・国立大学図書館協会）
研修プログラム再構築プロジェクトチーム
「検討報告」をまとめる

情報リテラシー教育に関する主たる内容

- ✓ 学術情報の入手、評価、活用のための支援は、学術情報流通の最終目的
- ✓ 情報リテラシー教育に関する理解とスキルは、図書館のコア・コンピタンスのひとつ
- ✓ 利用者の情報利用行動に対する理解と実践的なプレゼンテーション能力は必須



「情報リテラシー教育担当者研修」を実施すべきとし、
国大図協からNIIに実施を要請

2003年8月 NIIとして国大図協の要請を受諾し、研修実施を決定

- NIIの研修関連委員会による検討
位置づけ、目的、カリキュラム、講師、場所、期間、定員
- 2003年度は試行実施

リテラシー担当者研修 2003年度試行 (2)

● 実施概要

目的	学術情報リテラシー教育において中核的な役割を担う人材を養成
対象	大学等の学術情報リテラシー教育を担当する教職員 (2003年度は試行実施のため国立大学に限定)
期間	平成16年1月19日(月)～21日(水) : 3日間
会場	学術総合センター
定員	100名

リテラシー担当者研修 2003年度試行 (3)

● カリキュラム

[第1日]	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術情報概論 (学術情報流通全般に関する知識) ● 資料調査法 (資料調査、情報評価、レポート作成) ● プレゼンテーション
[第2日]	<ul style="list-style-type: none"> ● データベースサービスの動向 ● NIIの各種コンテンツ・サービス ● 電子ジャーナル① 諸機能と最新動向 国内学会系電子出版の動向
[第3日]	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子ジャーナル② ライセンス 利用統計 管理・アクセス支援ほか ● 理論と実際 大学図書館の事例報告 (3大学から) ● 理論と実際 共同討議 事例報告に対する意見交換

リテラシー担当者研修 2003年度試行 (4)

● アンケート結果

特に有益だった講義

- ▶ プレゼンテーション
- ▶ データベースサービスの動向
- ▶ 事例報告
- ▶ 国内学会系電子出版の動向

今後に希望すること

- ▶ 共同討議の拡充
- ▶ 実習・実技の時間を設ける
- ▶ 実務にすぐ使える話題や情報
- ▶ 電子ジャーナルの講義 — 多すぎる ⇔ 少なすぎる

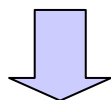
リテラシー担当者研修 2004年度概要 (1)

先行館事例の紹介

最近の動向のフォロー

● 研修の定常実施

- カリキュラムの見直し
- 関東・関西の東西2会場でそれぞれ実施
- 冊子体テキストの作成



目的	学術情報リテラシー教育において中核的な役割を担う人材を養成
対象	大学等の学術情報リテラシー教育を担当する教職員 (国立大学限定を解除)
期間	平成17年1月19日～21日 / 1月26日～28日
会場	大阪大学 / NII
定員	各回50名

リテラシー担当者研修 2004年度概要 (2)

● カリキュラム

<p>[第1日] 理論を学び 実例を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術情報リテラシー教育の理論と動向 ● 大学図書館の事例報告 (3大学から) ● 共同討議① 全体 事例報告に対する意見交換 ● 共同討議② 班別 検討課題の洗い出し
<p>[第2日] 知識を得る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● データベース・電子ジャーナルサービスの動向 ● 国内の電子ジャーナル化の動向 ● NIIの学術コンテンツ・サービスの展開 ● 情報倫理
<p>[第3日] 実践へ向けて 考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーション技法 ● 広報戦略 ● 共同討議③ 班別 課題別討議 ● 共同討議④ 全体 班別討議報告、意見交換

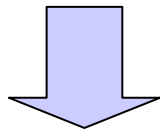
リテラシー担当者研修 2004年度概要 (3)

- 受講申込状況 (平成16年11月26日締切)

希望会場	定員	申込数	倍率
関東(NII)	50名	101名	2.02
関西(阪大)	50名	76名	1.52
いずれも可		7名	
全体	100名	184名	1.84

リテラシー担当者研修 今後へ向けて

- 2004年度研修終了後に計画を策定
 - 受講対象者 ⇒ 教員希望者への対応
 - 定員 ⇒ 高倍率への対策
 - 会場 ⇒ 関東・関西会場を続けるか
 - カリキュラム改善
 - 研修成果への評価



よりよい研修へ